

令和 6 年度 野洲図書館 事業報告(概要)

令和 7 年(2025 年)4月1日 (統計は令和 6 年度数値)

I. 利用状況

(1) 個人貸出し

	貸出冊数 (冊)	貸出人数 (人)	予約受付 (冊)	問合件数 (件)	実利用数 (人)	人口一人あた りの貸出冊数
本 館	423,095	107,679	65,147	3,153	-	-
中主分館	41,147	8,954	1,837	543	-	-
合 計	464,242 前年比 △6.9% (36,267)	116,633 前年比△5.1% (8,633)	66,984 前年比 +0.3%	3,696 前年比 -35.4%	9,407 (市民 8,303 人 実利用率△3.8%)	9.2 冊

* () 内は守山市、草津市、栗東市の広域利用の数

* 「実利用者数」は 1 年間に 1 度以上自分のカードで資料を借りたことのある人の実数。

* 本館 264 日、中主分館 285 日開館

(2) 地域別貸出冊数(市民・広域・在勤・在学)

	本館	中主	合計	前年比
野洲市民	380,289	37,830	418,119	-6.2%
湖 南 4 市	守山	2,102	28,529	-12.8%
	栗東	138	3,792	-7.7%
	草津	224	2,256	-14.4%
	小計	2,464	34,577	-12.4%
その他	10,693	853	11,546	-12.2%
合 計	423,095	41,147	464,242	-6.9%
前年比	-8.3%	+11.0%	-6.9%	

(3) 貸出冊数の推移

	合計	うち市民
H30	614,906	502,055
R1	555,122	477,687
R2	485,218	425,189
R3	535,337	473,927
R4	506,796	451,355
R5	498,520	445,917
R6	464,242	418,119

(4) 近年の利用状況の推移

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
貸出点数	614,906	555,122	485,218	535,337	506,796	498,520	464,242
貸出人数(のべ)	140,948	128,915	115,694	125,242	122,507	122,945	116,633
利用 1 回あたり貸出冊数	4.36	4.30	4.19	4.27	4.14	4.05	3.98
図書購入冊数	9,947	9,900	10,474	10,246	8,388	8,306	6,400
R2 年度→R4 年度がコロナ対策期(R2.4:緊急事態宣言、R5.5 に 5 類移行)。R2,R3 はコロナ交付金により別途図・学校用の資料購入あり。 図書購入予算の減少傾向(H30:1600 万円→R6:1150 万円)と、書籍価格の上昇により購入冊数が減少傾向(→資料の新鮮味が落ちる)							

令和 6 年度は、本館の空調設備の更新工事を実施した。市民の図書館利用へできるだけ影響を及ぼさないように工期を調整し、臨時休館は 11 月の 1 か月のみにとどめ(この期間も中主分館、予約本受取ボックスでの資料提供は継続した)、12 月から 2 月は暖房のない環境で開館をおこなった。この影響もあり、年度トータルの貸出冊数や利用者数は昨年を下回る結果となった。

野洲図書館の近年の状況を見ると、同時に“利用 1 回あたりの貸出冊数”に減少がみられる。これは、図書館に来て利用者が“借りたい本”が減っていることからではないかと分析している。資料費の減少と書籍価格の高騰により、図書館に新規で受け入れる新刊本が大幅に減り、市民へ十分な資料提供が難しい状況にある。普段は棚に埋もれていて利用者の目につきにくい既存資料を効果的に展示するなど、より魅力のある書架づくりに努めるとともに、十分な額の資料費を確保できるよう、継続して予算要求をしていく必要がある。

(5) 団体貸出 合計 54,277 冊貸出

内訳：園用読み聞かせ絵本セット 6,660 冊、小学校「としょかん BOX」24,080 冊、
中学校「としょかん BOX」7,910 冊、その他 15,627 冊

(6) 子どもと本をつなぐ

子どもが本に親しむためには、幼児期に大人が絵本を読んであげる、あるいは一緒に読む体験を重ねることが重要である。また、自分で読めるようになってからは、子どもの生活環境の中に自発的に読みたくなるような楽しみのための本、読書に適した本があることが大切である。

図書館では、通常の個人貸出しやお話会、子ども向けの蔵書の整備などの基本的な取り組みのほかに、下記のような事業を実施し、子どもから大人に至るまでの全過程において切れ目なく読書の環境を提供するよう事業を進めている。

市内の0-12才一人当たりの図書館児童書の貸出冊数の推移

年度	冊
H27	26.5
H28	26.3
H29	27.4
H30	27.2
R1	25.1
R2	21.5
R3	25.6
R4	25.3
R5	26.2
R6	25.6

①未就園児対象

- 「ブックスタート事業」……4 か月児健診時に、赤ちゃんのときから絵本を読んであげることの大切さを伝え、絵本を 2 冊プレゼントする事業。(R6 365 人に実施)

②幼児対象

- 園での読み聞かせ用絵本セットの巡回事業
- 園への団体貸出（配送もあり）
- 園に図書館所蔵の作品リスト配布（季節・行事・紙芝居、大型絵本などのお話会用作品、布絵本などの所蔵資料のリスト）

③小学生対象
中学生対象

- 園でのお話会・研修会などへの職員派遣、図書館見学
- 調べ学習等への協力（調査、本の用意、資料貸出、写真パネルの貸出）
- 司書の学校訪問（ブックトーク、お話会、研修会、職業インタビューなど）
- 児童生徒の図書館訪問の受入れ（図書館見学、貸出、お話会、職場体験等）
- 「としょかん BOX」巡回事業 小中学校の全クラスに 30～35 冊の本が入った箱を設置し、定期的に交換・巡回。小学校は年 7 回。中学校は年 5 回。
- 学童保育等への団体貸出

④その他

- 野洲高校との連携 ●図書館だより、ブックリスト等の作成
- 各種イベント、展示 ●リサイクル本の内覧会と譲渡（園・学校など対象）
- 保護者やボランティア向けの絵本講座への講師派遣（園など）

⑤学校図書館
支援業務

- 「学校図書館支援員」による支援業務
図書館の司書 1 名が学校教育課と兼務し「学校図書館支援員」として学校図書館のサポートを実施している (R5 開始)。学校図書館の業務システムの運用支援、選書・除籍、図書室のレイアウト等の相談業務だけでなく、授業支援のために調べ学習用資料の配送を行った。令和 6 年度は祇王小学校を重点校として、学校図書館の整備を進めた。

（参考 全国との比較）

昨年度とはほぼ同じ状況であるが、貸出し上位館においても貸出し数は前年比でおおむね減少している（下松市のみ上昇）。野洲市は同人口階層の中の貸出し冊数は全国 5 位、ただし人口一人当たりの貸出し冊数に換算すると同一人口階層の中で 3 位の水準。

人口 5 万から 6 万の市区（68 自治体） 貸出上位			
順位	自治体名	貸出数（千点）	人口（千人）
1	白河市（福島県）	617	59
2	野々市市（石川県）	551	54
3	下松市（山口県）	523	57
4	石狩市（北海道）	※499	58
5	野洲市	499	51
6	田原市（愛知県）	463	60
※『日本の図書館 2024』（日本図書館協会）より令和 5 年（2023 年）度統計値を独自に抽出。 ※「石狩市民図書館要覧 2024」では 502,944 点で、『日本の図書館』の数値と若干のズレあり。			

(7) だれでも図書館を利用できるしくみづくり

① バリアフリーサービス

障がい者手帳等を持つ人や要介護3以上の市民が対象。宅配と郵送を両方利用する人もいる。

平成29年度から開始した、障がいがある人への郵送、宅配サービスは、PR イベント等も実施して広報をすすめているが、よりすそ野を広げる取り組みが必要である。

バリアフリーサービス（宅配・郵送）							
年度	宅配			郵送			実利用者数 合計
	実利用者数	件数	冊数	実利用者数	件数	冊数	
R2	4	46	366	7	138	624	11
R3	6	37	329	14	177	710	17
R4	7	53	285	12	210	852	18
R5	9	43	107	11	155	692	19
R6	6	62	116	13	140	723	18

② 予約本受取ボックスと移動図書館

野洲図書館2館（本館・中主分館）の開館時間中に本を借りに来るのが難しい人、あるいは自動車の運転免許返納などにより図書館へのアクセス自体が難しくなった人などに対して、図書館利用の可能性を広げる施策として、野洲駅の「予約本受取ボックス」とアル・プラザ野洲での移動図書館を実施している。

予約本受取ボックスは供用開始以来利用が多い状態が続いており、常に100人以上の利用者が提供待ちの状況となってしまう。置き置き期限の短縮等、より効率的に提供できないかが検討課題となっている。

アル・プラザ野洲での移動図書館事業は、順調に定着しつつある。生活必需品の調達のついでに利用できるのは大きなメリットであると考えている。利用者からは「図書館までは遠くていけないが、アルプラなら来れる」などの声がある。一定の成果は出ているが、市内他地域へ同様のサービスを展開するのは困難であるため、市内各所への移動図書館を検討する際には、「移動図書館車」の導入を視野に入れる必要がある。

アル・プラザ野洲移動図書館			
	回数	貸出冊数（冊/回）	貸出人数（人/回）
R5	10	999（99.9）	246（24.6）
R6	12	1342（111.8）	288（24.0）



野洲駅 予約本受取ボックス 利用状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	342	384	398	390	398	331	386	337	352	306	346	383	4,353
貸出冊数	1,127	1,215	1,175	1,214	1,180	1,049	1,193	982	1,086	986	1,062	1,145	13,414

2. 蔵書

蔵書数（令和7年3月31日現在）

雑誌、新聞の（ ）内は購入数

雑誌オーナー 24タイトル 18件

	図書 （冊）	CD （点）	DVD （点）	絵画 （点）	雑誌 （タイトル）	新聞 （タイトル）
本館	379,875	5,809	1,225	310	163（124）	18（12）
中主分館	32,990	198	11	0	7（4）	1（1）
合計	412,865	6,007	1,236	310	170（128）	19（13）

購入資料数と決算額（令和6年度）

	新規購入図書 （冊）	視聴覚資料 （タイトル数）	図書費 （円）	雑誌購入費 （円）	新聞購入費 （円）	視聴覚資料費 （円）
本館	6,161	2	11,401,872	1,574,002	450,720	3,960
中主分館	239	0	364,842	37,800	46,800	0
合計	6,400	2	11,766,714	1,611,802	497,520	3,960

*購入しての提供とはならなかった資料は、県内外の図書館との相互貸借により資料を取り寄せて提供している。滋賀県では県立図書館の協力車が毎週巡回し、資料を搬送。（R6 相互貸借件数 借受：2,253冊 貸出：811冊）

3.集会・事業等

【講演会等】

- ①講習会「『わたしと家族の「そうぞく」講座』」(明治安田生命保険相互会社・野洲市 連携協定事業)
 - 9月11日(水) “相続”と“争族”のはなし
 - 10月9日(水) 最適な「MY ライフ&エンディング」を考えよう
 - 10月23日(水) 笑顔を運ぶ「遺言」のお話講師:奥村久美子さん 参加者のべ135名
- ②筒井大介さん講演会「未来を思いながら絵本をつくる。～絵本編集者という仕事」10月19日(土)
講師:筒井大介さん(絵本編集者) 受講者:43名

【特別展示】

- ①「わたしのまちの自費出版展」共催:サンライズ出版、本のがんこ堂 期間:5月2日(木)～5月26日(日)
- ②「野洲市の昭和の写真展」(野洲市政施行20周年記念) 期間:6月7日(金)～7月3日(水)

【その他事業】

- ①「一日図書館員」7月24日(水)、7月26日(金) 参加者24人
- ②「化石とあそぼう 12 三葉虫の謎」7月27日(土) 参加者170人
- ③「本で調べものマスターをめざそう!」8月2日(金) 参加者4人
- ④「この夏はヤストショへGO!!」・「本のPOPを描こう!」8月7日(水) 参加者2人
 - ・「図書館で謎解き」8月16日(金)～30日(火) 参加者78人
 - ・「ボードゲーム みんなで本をもちよって」8月20日(火) 参加者6人
- ⑤「夏の移動図書館は★特別版★」@アル・プラザ野洲
 - ・「絵本の広場」「おはなし会」7月19日(金) 15人
 - ・「工作あそび」8月16日(金) 参加者21人
- ⑥「としょかんて夜更かし」9月15日(日) 18:30～22:00
 - ・書庫開放 参加者51人
 - ・夜のとしょかんコンサート 参加者150人
 - ・POP展示

4.その他の事業、学校・園協力事業

- ①おはなし会(図書館内) 合計58回762人(司書、ボランティアにより実施)
- ②学校、園協力
 - ・調べ学習資料用意:95件2,436冊
 - ・中学校職場体験:3校10日15人
 - ・学校への出張個人貸出:4校(三上小、中主小、篠原小、中主中)延べ32回 合計2,961冊貸出
 - ・ブックトーク:小学校(6校)へ出向 合計88クラス2,769人
 - ・小学校でのおはなし会29回12日2,793人(司書、ボランティアにより実施)
 - ・小学校・幼稚園等の図書館見学2回93人

5.資料の特設展示(合計111件 18022冊貸出し)

「祝『成瀬は天下を取りにいく』本屋大賞」「私に翼を 自分らしく生きるために」「われらの図書館」
「源氏物語の世界」「しあわせな働き方」「あんな家こんな家」「江戸の粋」「若者と戦争」
「庭仕事の愉しみ 花も野菜も」「他者の靴を履く～心の国境を越えて～」 「日本の美 雅なるかな」ほか

6.他機関等との連携

- ・ブックスタート事業 4か月児健診児対象 ※コロナ対策で休止していた健診会場での実施を再開
(365組※、730冊配布 ※健診受診者327組と前年度の引換券配布者38組)

7.図書館協議会(委員任期 令和5年5月1日～令和7年4月30日) 委員10名、年4回開催

- ・図書館の評価や運営についての意見交換等を実施。

8.その他

- ・「図書館の評価」令和元年度より実施開始 3項目 図書館協議会による外部評価を実施
- ・図書館アンケート 令和7年1/15～2/9 回答計639件(用紙回答493件、ネット回答146件)
- ・施設貸出 利用回数680回、8,143人、利用団体実数97団体